

事務事業評価資料

施策名	安全・安心な社会づくり（医療体制の整備）			所管部局課名	健康福祉部健康局医務課				
事業名	地域医療連携推進事業			担当者電話番号	医療政策係 078-362-3243				
事業目的	へき地等の地理的条件の限られた医療資源の中、医療の質を向上させるため、地域の実情を踏まえた新しい地域医療のあり方を研究し、地域医療を協働で支える仕組みを構築する。								
事業内容	委託先：神戸大学大学院地域医療・保健学系講座（仮称） 委託内容：地域をフィールドとした地域医療連携に係る研究、地域と連携した地域病院に対する外来支援 負担割合：県2/3、病院設置者1/3				事業開始年度	平成21年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 0千円		(0千円) 0千円		(20,000千円) 30,000千円			
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	836千円	従事人員 0.1人		
	総コスト（+）	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	30,836千円	従事人員 0.0人		
事業の目標	地域医療に係る研究の実施			[目標設定理由] 医師の減少により医療機能が低下していく地域において、医療水準の向上と地域医療の確保を図るため、神戸大学と共同した地域医療に係る研究の実施を目標とする。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H19	H20	H21
		1研究	21～23年度	- (0千円)	- (0千円)	1研究 (30,000千円)	-	-	100.0%
評価結果	必要性	・へき地等の地理的条件の限られた医療資源の中、医療の質を向上させ、本県の医療水準の向上と地域医療の確保のために必要な事業である。							
	有効性	・本事業による成果を着実にあげることにより、研究を実施し県全体の医療行政に向けた知見を得ることにより、本県の医療水準の向上を図ることができる。 ・また、研究のフィールドワークとしての県立柏原病院などでの診療支援を通じ、地域医療の確保を図ることができる。							
	効率性	・本事業のコストは、1研究（教員2名分）で30,000千円と、へき地医師確保特別事業と概ね同水準であり、これにより、県全体の医療行政に向けた知見を得るとともに、地域医療の確保を図ることができ、効率的である。							
	民間・市町との役割分担	・県全体の医療行政に向けた知見を得ることが目的であり、県が実施すべき事業である。							
	受益と負担の適正化	・県全体の医療行政に向けた知見を得ることが目的であり、市町への負担は求めないが、当該事業により診療支援を受ける病院の設置者に対しては、経費の1/3の負担を求め適正化を図っている。							
実施方針	方向性	新規		拡充		継続		実施手法の見直し	
		廃止		縮小		統合		凍結(休止)	
	実施手法の見直し内容	市町移譲		民間移譲		民間委託		PFI 負担割合変更 事務改善 その他	
説明	へき地の地理的条件と限られた医療資源の中で、医療の質を向上させるためには、地域の実情を踏まえた新しい地域医療連携のあり方を研究し、地域医療を協働で支える仕組みを構築する必要がある。そのため、臨床医学のみならず臨床検査、リハビリテーション、医療行政など地域医療に関係する様々な分野における研究を行うこととなっている神戸大学に対し、地域医療連携推進事業を委託する。								